

—ハイブリッド型オンラインシンポジウム—

子どもを学校の学びから『脱落』させない スクールカウンセリング

主催：一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会

(一般社団法人日本学校教育相談学会・日本学校心理士会・日本キャリア教育学会・NPO 法人日本教育カウンセラー協会・
日本教育カウンセリング学会・一般社団法人日本カウンセリング学会・一般社団法人日本臨床発達心理士会)

後援：文部科学省・一般社団法人日本図書文化協会・一般財団法人応用教育研究所

● 昨年10月に文部科学省はコロナ禍の2021年度の不登校小・中学生が前年度から4万8813人(24.9%)増の24万4940人となり過去最多を記録したと発表した。不登校の増加は9年連続で10年前と比較すると小学生は3.6倍、中学生は1.7倍増となった。こうした現状を解決する一助として昨年12月に公表された「生徒指導提要」では新しく「生徒指導の2軸3類4層構造」が示され、スクールカウンセリングを核とした「発達支持的生徒指導」「課題未然防止教育」の充実などが強調された。本シンポジウムでは、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育を目指し、「生徒指導提要」の新しい考え方を踏まえてこれまでの活動を振り返り、子どもたちが誰一人取り残されずに「個別最適な学び」と「協働的学び」を体験することができるようなスクールカウンセリングのあり方について話し合いたい。

日時：2023年6月24日(土) 13:00～16:00

参加費：2,000円(ライブ配信視聴のみ学生無料)

会場：御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター Room C(御茶ノ水駅徒歩3分)

参加方法：〔会場参加〕直接、会場に会場いただきます。

〔ライブ配信視聴による参加〕YouTube Live 配信を視聴、質問はチャットで受け付けます。

定員：〔会場参加〕50名(コロナの感染状況により人数変更の可能性があります)

〔ライブ配信視聴による参加〕300名程度

研修証明：ガイダンスカウンセラー(スーパーバイザーを含む)資格更新のIについて1ポイント。
学校心理士更新資格ポイントA(1ポイント)

プログラム

全体司会 鈴木教夫氏〔茨城県SC, 文教大学・東京理科大学非常勤講師〕

(12:45-13:00「國分康孝スクールカウンセリング賞」表彰式)

13:00-16:00「第13回公開シンポジウム」

1. 講演 「問題を未然防止するスクールカウンセリングへの期待」 15分

柴山昌彦氏〔衆議院議員, 元文部科学大臣〕

2. 講演 「生徒指導提要を生かした問題行動の未然防止」(仮) 30分

仲村健二氏〔文部科学省初等中等教育局児童生徒課生徒指導室長〕

3. シンポジウム 「子どもを学校の学びから『脱落』させないスクールカウンセリング」

約120分(シンポジスト紹介5分+各20分×4名+質疑応答35分)

司会 飛田浩昭氏〔西武文理大学特命教授, 一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会研修副委員長〕

シンポジスト 八並光俊氏〔東京理科大学教授〕 発達支持的生徒指導の核心と基盤

金子恵美子氏〔慶應義塾大学准教授〕 不登校の現状—子どもたちへの支援と課題—

河村茂雄氏〔早稲田大学教授〕 多様化してきた児童生徒を前提とした学級経営のあり方—
—教育カウンセリングから自律教育カウンセリングへ—

加勇田修士氏〔NPO法人ストレス対処法研究所理事長〕 都立定時制高等学校の中退予防対策事業の取り組み(仮)

●申込み：ホームページから <http://jsca.guide/training/>

一般社団法人日本スクールカウンセリング推進協議会事務局 info@jsca.guide

〒112-0012 東京都文京区大塚1-4-15 アトラスタワー3F 電話：03-3941-8049 FAX：03-3941-8116



